

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ノアと大こうずい



^{ぶん}
文: Edward Hughes

^え
絵: Byron Unger; Lazarus

^{かいさくしゃ}
改作者: Bob Davies; Tammy S.

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

^{しゅつぱんしゃ}
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2009 Bible for Children, Inc.

^{きよか} ^{たにん} ^う ^{かぎ} ^{はなし}
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
^{また} ^{きよか}
又はプリントは、許可されています。



かみ だいす
ノアは、神さまが大好きで、
さんび
いつも賛美している人でした。
でもね、ほかのみんなは、
さんび
賛美などすっか

りいや
になり、

かみ
神さまにしたが
いません
でした。



ある日、神さまは、みんなが
ひどくショックをうけるよ
うなことを、言われました。

せかい

わる

「この世界はこんなにも悪くな
ってしまった。ひとつのこら
ずほろぼしてしま

おう！」

そして、ノアにこ

い

う言われ

ました。「ノア、
あなたのかぞくだけは、

たす

助けてあげよう。」



かみ

神さまは、ノアにやがて大こうずいがやっ
てくること、そしてその大こうずいは、

ち

すっぽりとこの地すべてをおおって
しまうことを、しらせました。

「ノア、大きなはこ舟を、
つくりなさい。」



あなたのかぞくと どうぶつ たくさんの動物たち
はい ぶね
みんなが入れるようなはこ舟をね。」



かみ

めい

神さまは、ノアにこう命じられ、どのよう

ぶね

にはこ舟をつくるか、ひとつひとつて
いねいにおしえてくださいました。

さあ、ノアは、いそがしくな
りましたよ。





ノアは、まわりの
ひと

人たちに、どうし
てこんなに

おお

大きなは

ぶね

こ舟をつく

っているのか、

おしえてあげました。

でも、たぶんみんなは、

わら

ノアをばかにして笑っ
たでしょうね。





ノアは、もくもくと、
^{ぶね}
はこ舟をつくりつづ
けました。そして
みんなに、

^{かみ}
神さまの
^い
ことを、言いつづけ
ました。でもね、だれ
^き
も聞こうとはしません
でした。



ノアは、^{こころ}心のそこから^{かみ}神さまを^{しん}信じていました。たと

^{いま}え今まで、

^{いっ}ここに^{あめ}一てきの雨もふったことが
なかつたとしても、やっぱりノ

^{かみ}アは^い神さまの言われたことを

^{しん}信じたでし
ょう。



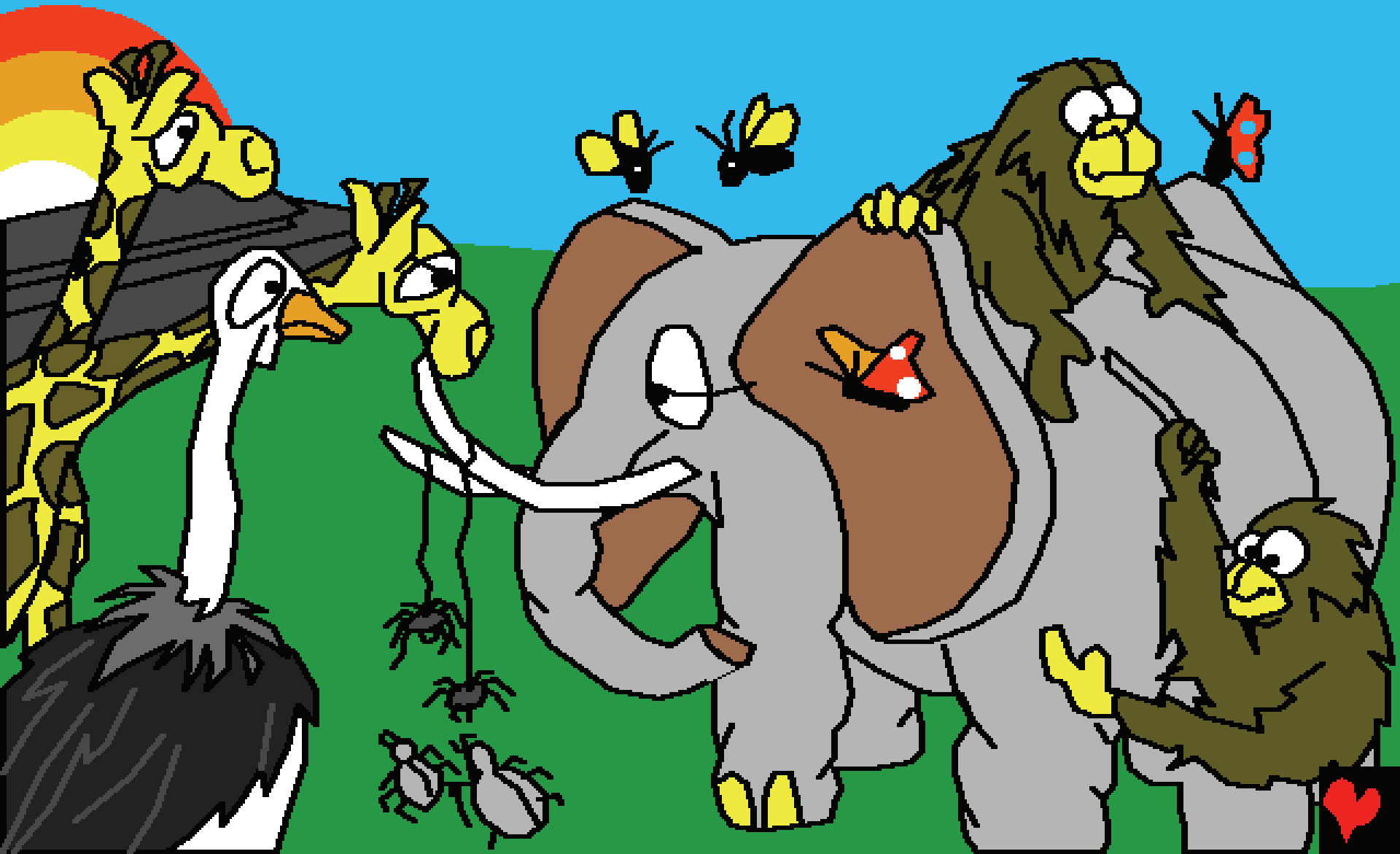
ぶね

まもなくはこ舟は、いろい
ろなものを積みこむための
じゅんぴが、すっかりとで
きあがりました。



どうぶつ

さあ、動物たちがやってきました。



かみ

どうぶつ

神さまは、いくつかのしゅるいの動物から、おすとめす

なな

ふた

と七くみ、またそのほかのしゅるいからも二くみ、
つれてこられました。



とり

ことり

どうぶつ

大きな鳥やかわいい小鳥さんも、ちっちゃい動物さん

どうぶつ

ぶね

からのっぽの動物まで、みんなそろってはこ舟へ
やってきましたよ。



どうぶつ

ぶね

人々は、ノアが動物たちをはこ舟にのせてい
るのを見て、あざけり笑ったのでしょ
うね。

み

わら

みんなは、神さまにしたがわな
いで、
罪をおかしてばかりい
ました。

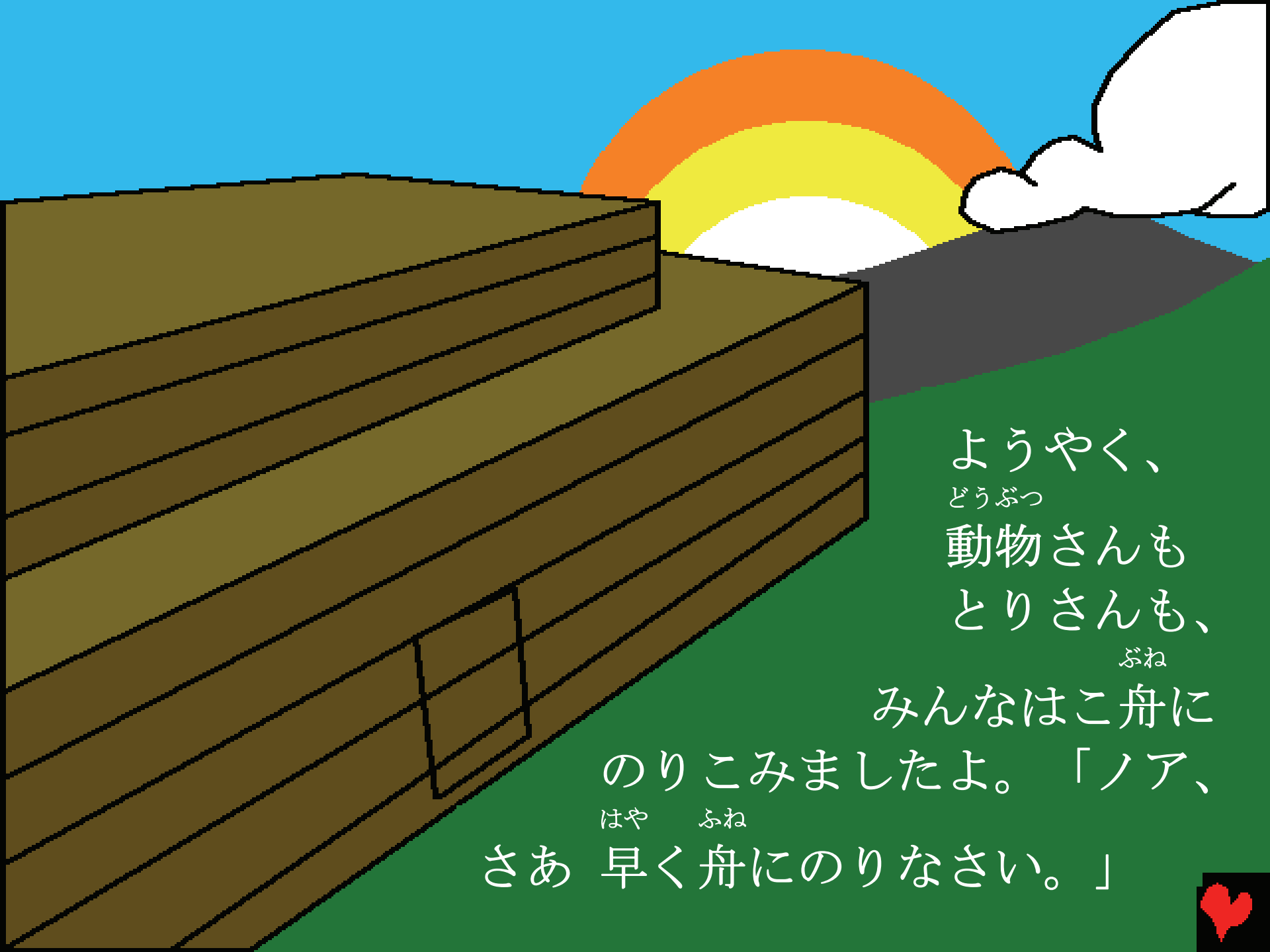
かみ

つみ



それにみんなは、ノアにはこ
ぶね い
舟に入れてくださいって、
たのみませんでした。





ようやく、
どうぶつ
動物さんも
とりさんも、
ふね

みんなはこ舟に

のりこみましたよ。「ノア、
はや ふね

さあ 早く舟にのりなさい。」



かみ

神さまは、ノアをよびました。「あなたの
かぞくもいっしょにね。」

ノアのつま、
さんにな

そして三人のむ
すこたちとその
つまたちが、

ぶね

はこ舟にのりこみま

かみ

した。それから、神さまは、

ぶね

と

し

はこ舟の戸をぴしゃりと閉
められたのでした。



あめ

いよいよ、雨がふり
はじめましたよ。ど

あめ

よんじゅうにち

しゃぶりの雨です。四十日

ひる

のあいだ、まいにちまいにち、昼

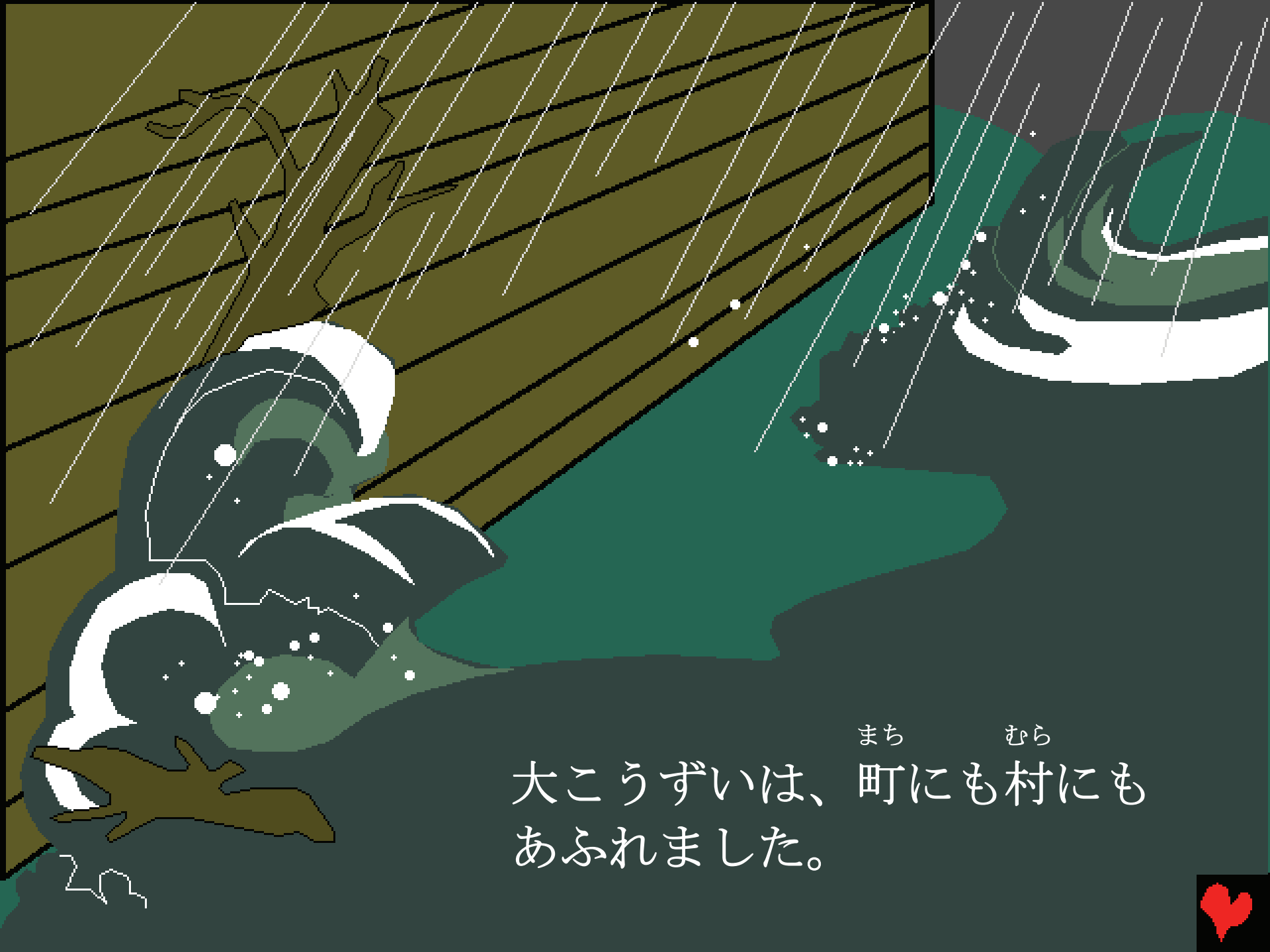
よる

も夜もふりつづけたのです。

みず

なにもかも水びたし・・・。





まち むら
大こうずいは、町にも村にも
あふれました。





あめ

雨がやんだとき・・・

たか

やま

あれっ、高くそびえていた山も、

みず した

水の下にかくれてしまいましたよ。

い

生きていたものは、みんな

なくなってしまいました。





みず

水がどンドンあふれてくると、

ぶね みず うえ

はこ舟は、水の上にぽっかりと

ぶね なか

うかびました。はこ舟の中は、

くらかったでしょうね。

がたがたゆれたでしょうね。

そしてみんなこわかったかもし

ぶね

れませんね。でも、はこ舟は、

だい

ノアを大こうずいからまもっ

てくれたんですよ。



ご げつ ずい
五か月ものあいだ、こう水はつづきま
かみ
した。そのあと、神さまは、かわいた
かぜ
風をおくられました。





ぶね たか
はこ舟は、のこされた高い山、
アララト山さんのほうへながされて
いきましたよ。





そう、ゆっくり、ゆっくりと・・・。

よんじゅうにち

ノアは、それからまだ四十日のあいだ、

ふね

舟のなかにいました。そのあいだに

みず

水がすこしずつ

つひいてい

きました。



ふね

ノアは、舟のまどをあけ、カラスとハトをはなしてやり
ました。でもね、



とまることができるよう
なかわいたきれいなとこ
み

ろが見つからなかったので、
ハトは、ノアのところにもどっ

いっしゅうかん

てきました。」一週間して、
ノアはもういちどハトをはなして
やりました。すると、どうでしょう。





ハトは、あたらしいオ
くち

リーブのはっぱを口にく
わえてもどってきましたよ。

つぎ しゅう ち

そして次の週、ノアはこの地
がかわいていることが、わか
ったのでした。なぜってね、
こんどは、ハトがもどってこ
なかつたんですもの。



かみ

い

神さまは、ノアに言われました。「さあ、そろそろは

ぶね

こ舟からでてごらん。」ノアもノアの
かぞくもいっしょになっ
て、どうぶつたちをはこ
ぶね
舟からおろ
してあげ
ました。



ノアは、なんてうれしかったことでしょう。ノアは

さい

かみ

祭だんをつくり、「神さま、

ありがとうございます

ます。」って、

れいはい

礼拝しました。

かみ

神さまが、ノアもかぞくも、おそろしいあらしから、すくってくださったのですから。



かみ

神さまは、
ノアにすばらし
いやくそくをして
くださいました。
それはね、

かみ

神さまはもう
に ど ずい
二度とこう水な
どおないって。

ひと つみ

人の罪をさば
くためにね。



かみ

神さまは、

おも

そのやくそくを思

だ

い出せるようになって、

すてきなものをくださ
いました。それは、にじ。

うつくしいにじが、

かみ

神さまのやくそくの
しるしなのです。



だい

大こうずいのあと、
ノアやノアのかぞくたちは、
すべてのことを、はじめから
あたらしくやりはじめま
した。



そのうちに、

ち

この地ぜんぶノアたちのしそんで

せかいじゅう

いっぱいになりました。世界中

くに

のいろいろな国の人々は

みんな、ノアとそ

こども

の子供から

う

生まれてきたのですよ。



ノアと大こうずい

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 6 章 - 10 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

